

議会運営委員会協議結果

日時：令和7年4月21日（月）

午後1時30分 開会

午後2時13分 閉会

場所：委員会室

1. 議会広報誌編集委員会、議会PR委員会、議会ICT推進委員会の令和7年度の運営について（資料1）

【岩田玲子委員長】会派持ち帰りとしていましたこの件について、各会派のご意見を
お願いします。まずは、PR委員会が主導でまとめ役となるということ
についてご意見を伺います。

【竹内功治委員】3つの委員会は並列ではありますが、戦略を立てるPR委員会は先
頭に立ち、他の2委員会を主導していく立場でいいと思います。

【山田清一委員】同様の意見です。

【伊藤正興委員】同様の意見です。

【中村和也委員】PR委員会は、他の2委員会の活動に支障が出ないように、戦略の
部分に関してリードしていただければいいと思います。

【岩田玲子委員長】PR委員会が主導する。他の2委員会のやりやすいように導いて
いただくということで、委員の合意が図られました。

【中村和也委員】他の2委員会が、PR委員会から提案があるまで何もできないので
はなく、今まで通り活動していきながら、PR委員会から提案があっ
たときにブラッシュアップしていくということでもいいですか。そのよ
うなことにに関して共通認識を持ってないと、委員会がスタートしたと
きにうまく回らないと思います。

【岩田玲子委員長】その点については、これから協議します。それでは、令和7年度、
具体的に何をどうしていくか、ご意見をお願いします。

【竹内功治委員】若い世代との交流が必要だと思います。例えば、PR委員会の取組
みとしては、市P連との意見交換、はんだっこや児童センターを利用
する若い世代との交流や、既存の団体に入っていない若い世代との交流
の機会を作っていく。広報誌編集委員会は、市報と一体化した場合の
費用対効果などを調査研究した上で若い世代が興味を持つような特集
ページや、高校生をインタビュアーに活用するなどいろいろな形で若
い世代が興味を持つページを考えていただきたい。ICT推進委員会
では、ホームページやSNSの活用、ホームページと市議会だよりの

連携を考えるべきだと思います。

【山田清一委員】やり方は様々あり、インスタを活用したり、カフェトークというかコーヒーでも飲みながら若い方と語り合う、議会また議員と身近な接点を出向く形でつくるとか、いろいろできると思います。新しい委員長を中心に進めていただきたいです。そして、これまで以上に3委員会が連携をとって進める必要があります。

【伊藤正興委員】新しい体制で取組む上でいろいろな課題が出てきます。広報誌編集委員会では、広報誌を発行するために回数と時間をかけてやっていて、さらにそこにボリュームを増やす、例えば特集ページを入れるということは去年も議論がありましたが、そうすると今以上に委員会にかかる時間が増えることになります。3委員会の中でも、時間がかかっている委員会とそこまでもない委員会があると思うので、どうバランスを取っていくかも課題です。かかる労力は、どこまでクオリティを求めるかによって変わりますので、その点も議論したいと思います。若い方でも団体に所属しない、個で動いている方たちとうまく繋がることのできるいいと思いますので、皆さんと知恵を出しながらやっていきたいと思います。

【中村和也委員】ターゲットは決まりましたが、発信する情報の中身のほうが重要であり、新しい委員長を中心に議論していただければいいと思います。現実的に時間は有限なので、特定の誰かに負担が回っていくのではないかとということもありますので、いい内容のものにチャレンジしながら、現実的なところで折り合いをつけてやっていけばいいと思います。

【岩田玲子委員長】PR委員会では、20代、30代、40代及び子育て世代をターゲットとして、いろいろなグループで活動されている方や、団体に属さない個々で動いている方とつながって何かしていければ、というような形でスタートするということがよろしいですか。

【渡邊昭司議長】ケースバイケースになってくるかもしれませんが、この世代の方をターゲットにした何か催し物があつたときに、PR委員会だけでやるかもしれませんし、議会全体で協力をしていただくことになるかもしれませんし、いろんなケースが考えられます。その際は皆さんご協力をいただきたいと思います。

【岩田玲子委員長】広報誌編集委員会はどのようにスタートしていくかのイメージがあればお願いします。

【芳金秀展委員】広報誌編集委員会は、市議会だよりの編集がありますので、当然それをやります。プラスして、これまでは全体に向けて発信していたが、

戦略が決まったので若い世代に向けたような、例えば言葉一つとっても変えていくとか、まずはそうやっていくのがはじめではないかと思います。その中で、例えば高齢者に向けての特集を組もうということにならないようにPR委員会がみていく、という形になるのではないのでしょうか。広報誌編集委員会の中で引き継ぎは行われているので、ここで細かなことを決める必要はないと思います。

【渡邊昭司議長】まずは広報誌の編集をやっていただく中で、若い世代に向けて何か仕掛けをしていくときに、広報誌に掲載するとかということを3委員会で調整していくことになろうかと思います。

【岩田玲子委員長】広報誌編集委員会、ICT推進委員会それぞれが活動する中で、3委員会ですり合わせをしながら進めていくということでお願いします。3委員会のすり合わせ、打合せをどれくらいの頻度で行うのか、定期的に行うのか、決めておいてはいかがでしょうか。

【竹内功治委員】月1回以上は行うといいと思います。

【山田清一委員】月1回とかいう形式的なことよりも、必要に応じてという形でいいと思います。

【岩田玲子委員長】月1回程度、議運やその他の会議あがるときなどに、必要に応じて行っていくことにします。次に無所属議員のPR委員会への所属についてご意見を伺います。

【竹内功治委員】無所属議員もPR委員会に入れるようにしたらいいと思います。

【山田清一委員】賛同しますが、誰が何人というようなルール決めが必要です。

【伊藤正興委員】定員を決めておいて、空いたところに無所属議員が入っていただければいいと思います。

【中村和也委員】伊藤委員が言われたとおりでいいと思います。

【石川英之副委員長】無所属議員3名のうち1名が所属してほしいです。PR委員会の協議内容や決定事項を、無所属議員に誰が伝えるかという課題がありますので、PR委員会に所属した無所属議員が他の無所属議員に伝える役割を担っていただきたいです。

【山田清一委員】今まで、無所属議員が他の無所属議員に伝えることはなかったと思いますので、どう決めればいいのでしょうか。

【岩田玲子委員長】しばらく休憩します。

午後1時58分 休憩

午後2時05分 再開

【岩田玲子委員長】再開します。PR委員会委員は、各会派からの選出に加え無所属議員も所属するということがよろしいですか。

【渡邊昭司議長】無所属議員も含めて7名とするかどうかを確認してください。

【岩田玲子委員長】しばらく休憩します。

午後2時06分 休憩

午後2時08分 再開

【岩田玲子委員長】再開します。無所属議員の扱いについては、5月臨時会前に決めることにします。

【芳金秀展委員】5月まで持ち越しましたが、それまでは何もしなくていいのか。このまま5月を迎えても何も変わらないので、それまでに何をしておくのか確認しておいたほうがいいと思います。

【渡邊昭司議長】他の役選も含めて、5月7日には人数割りくらいはしておきたいので、そのように進めてください。

【岩田玲子委員長】しばらく休憩します。

午後2時11分 休憩

午後2時12分 再開

【岩田玲子委員長】再開します。5月7日までに無所属議員の意向を確認し、委員の皆さんに報告します。

2. その他

【岩田玲子委員長】その他で何かありますか。

《 発言なし 》

《 閉会 》